

# 量産移行前チェックリスト

初品合格のまま量産に入って不良の山を作る前に確認しておきたい論点

チェックの結果は厳密な診断ではなく、次に確認・修正・相談すべきことを整理するための目安です。各項目の詳しい判断基準（なぜ重要か・OKとNGの目安・確認方法）はWeb版に掲載しています。

## 設計の観点（4項目）

- 初品確認の結果が、図面の全寸法・全項目をカバーしている（測られていない寸法がない）  
目安：図面の寸法に通し番号を振り、初品測定結果と1対1で対応づけた一覧が残っている。

---

- 試作段階の設計変更がすべて図面に反映され、最新リビジョンが関係者に共有されている  
目安：試作中の変更が変更履歴として図面に反映され、社内と外注先が同じリビジョンを参照している。

---

- 機能・安全に効く重要特性が指定され、量産での管理方法（誰がどの工程で確認するか）が決まっている  
目安：重要特性が図面・管理計画に明示され、対応する工程・検査・頻度まで決まっている。

---

- 量産の数量・サイクルタイムで成立する工法になっている（試作専用の作り方に依存していない）  
目安：量産で使う設備・治具・条件で初品を作り、試作との工法差分が文書で整理されている。

## 加工の観点（4項目）

- ばらつきの確認が、量産条件で連続して作ったワークで行われている（1個の合格で判断していない）  
目安：量産条件での連続加工から複数個を測定し、公差に対するばらつきの余裕を確認した記録がある。

---

- 作業標準書・条件表が量産開始前に整備され、実際に作業する人が参照できる状態にある  
目安：作業手順・条件・判断基準が標準書になっており、量産を担当する作業員への教育記録もある。

---

- 後工程（バリ取り・仕上げ・洗浄など）の処理時間と人員が、量産数量で成立する見込みになっている  
目安：後工程の1個あたり処理時間を実測し、量産数量×処理時間が人員・設備の能力に収まることを確認している。

---

- 変化点管理のルール（人・設備・材料・方法が変わるときの手順）が量産開始前に決まっている  
目安：4Mの変更時に事前連絡・初物確認・記録を行うルールがあり、変更履歴が時系列で残っている。

## 検査の観点（3項目）

- 量産時の検査体制（全数か抜取か・誰が・どの工程で確認するか）が決まっている  
目安：量産初期は強化検査、安定後に通常検査へ移行する計画が、項目・頻度・担当つきで決まっている。

---

- 検査具・限度見本・測定器が量産の数量と速度に対して足りており、校正も済んでいる  
目安：量産タクト内で使える検査具・ゲージが工程に配備され、限度見本も量産開始前に承認済みになっている。

---

- 量産で不良が出たときの判定・隔離・是正のフローと責任者が決まっている  
目安：不良発見時の隔離場所・判定者・是正の起点が決まっており、立ち上げ期の不良が記録に残っている。

### 外注の観点（3項目）

- 外注工程の量産能力（数量・納期・繁忙期の余力）が確認され、文書で合意されている  
目安：月産数量・リードタイム・増減の連絡ルールが見積条件または覚書として文書になっている。

---

- 外注工程の初品合否の結果と、量産時の検査成績書の様式が外注先と合意されている  
目安：初品の測定項目・合否判定と、量産ロットごとの成績書の記載項目が発注時に合意されている。

---

- 外注先の変化点（設備変更・材料変更・再委託・工場移転など）の事前連絡ルールが合意されている  
目安：事前連絡の対象となる変更の種類と連絡期限が品質協定に明記され、運用実績もある。

チェックがつかない項目が3~4個以上ある場合は関係者レビューを、半数近くある場合は基準・文書そのものの見直しをおすすめします（目安であり、組織・製品により異なります）。発行：2026-06-10